

平成24年度 入学者選拔要項



YOKOHAMA
CITY
UNIVERSITY
横浜市立大学

2012



CONTENTS

□ アドミッションポリシー	1
□ 学部構成	3
□ 2012(平成24)年度 入試制度・募集人員	3
□ 2012(平成24)年度 入試日程・概要	4
□ 入学者選抜における変更点【2012(平成24)年度入試】	6
□ 入学者選抜における変更点【2013(平成25)年度入試】	10
□ 一般選抜	18
■ 国際総合科学部	20
国際総合科学科《国際教養学系／経営科学系／理学系》	
■ 医学部 医学科	22
■ 医学部 看護学科	26
□ 特別選抜	27
❖ 推薦入試【指定校制】	28
❖ A O入試	29
❖ 海外帰国生特別選抜	31
❖ 外国人留学生特別選抜	33
❖ 社会人特別選抜	35
□ 2011(平成23)年度 入試結果	37

横浜市立大学 アドミッションポリシー

◆ 本大学の使命と3つの理念

国際都市・横浜にふさわしい国際性、創造性および倫理観を有し、高い志をもった人間を育成します。このため、学術の中心となり、卓越した知的資源を創出し、地域社会はもとより、広く世界をも視野に入れ貢献するとともに、国際社会に通用する大学となります。

- 1 学習成果を最大限に引き出し、自ら課題を見つけ探求する姿勢と様々な問題を解決する能力が備わった人間の育成に努めます
- 2 学生のキャリア形成に主眼を置いた様々な支援プログラムを提供し、国際社会で通用する人間の育成に努めます
- 3 横浜市が有する意義ある大学として、人材育成、産学連携、市民医療など地域への貢献を推し進めます

◆ 求める学生像、望ましい資質

▼ 横浜市立大学が求める学生像 ▼

横浜市立大学では、学部・学科・学系によらず、次のような人を求めます。

- 既成の枠組みや慣行にとどまらず、自由で創造的な姿勢で真理を探究する人
- 課題意識を持って、自らの人生を生き抜く強い意志力を備えた人
- 地域社会のみならず、広く人類社会に貢献する意欲を持つ人

▼ 望ましい資質 ▼

国際総合科学部

国際総合科学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 自ら積極的に物事に取り組み、理論的に思考し、発信できる人
- 国際的に活躍できる語学力や、豊かな教養を求める人
- 専門性を身につけて、それを将来に活かしたい人
- 人間と自文化・異文化についての旺盛な好奇心を持つ人
- 外国語への関心を持ち文化交流や情報発信に積極的な人
- 社会や文化について深く考え追求できる人
- まちを歩くのが好きで社会の動きや流行に敏感な人
- 新しいことにチャレンジしてあきらめない人
- 枠におさまらずにいろいろなことに興味をもつ人
- 経済・社会問題など社会科学の話題に興味を持つ人
- 企業経営や市場、政策、地域に対する旺盛な好奇心を持っている人
- 多様な観点から経済社会の問題に取り組む意欲を持つ人
- 自然科学に対する強い関心と探求心がある人
- 実験し発見することに喜びを感じられる人
- 自然科学の発展のために意欲あふれる人

医 学 部

医学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- 思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- 柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人
- 自ら問題を発見し、解決するための学習意欲を有する人
- 医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- 自ら生活習慣を改善し、健康増進に取り組む意欲を有する人
- 医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人

看護学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 生命と個人の尊厳を尊ぶ姿勢のある人
- 高い責任感・使命感・倫理観を有する人
- 向学心を有する人
- 看護実践者として社会に貢献する意欲のある人
- 将来、看護実践における問題や課題に着目し、解決することへの学習意欲のある人

◆ 一般選抜入学試験で求められること

国際総合科学部

基礎学力を評価するセンター試験（1次試験）と、志望分野についての問題意識、理解力、論理的思考力、外国語能力などを総合的に評価する論文試験（2次試験）により選抜します。

国際教養学系の論文試験においては現代世界の社会・文化問題に知識と関心を持っているかどうか、複雑な社会・文化現象に対する分析力と理解力をもっているかを評価します。

経営科学系の論文試験においては社会現象に対する理解力や思考力、および社会科学に関する総合的な能力を有するかを多角的に評価します。

理学系の論文試験（総合問題を含む）においては物理・化学・生物学・数学の基礎をよく理解し、自然現象や科学技術などを基本に根ざした視点でとらえる力があるかを評価します。

医学部

基礎学力を評価するセンター試験（1次試験）と、2次試験により選抜します。

医学科の2次学科試験においては自然科学（理科）、外国語（英語）、数学を課し、いずれの分野においても基礎をよく理解しているかどうか、また小論文と面接においてはものの考え方やコミュニケーション能力を評価します。

看護学科の2次試験においては保健医療・福祉の分野に関わる問題・課題についての基本的な知識や自己の見解などを論理的に表現できる力を評価します。

◆ 多様な入試制度で求められること

国際総合科学部 国際教養学系／経営科学系／理学系

推薦入試【指定校制】

本学への入学実績に基づき本学国際総合科学部が指定する高等学校の在籍者を対象として、在籍中の英語を含めた幅広い基礎学力が備わっているかを評価する書類選考と面接により評価します。

AO入試

高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。関心ある分野における積極的な活動やそれに対する自己評価、入学後の目標を記した書類および高等学校の調査書(またはそれに代わる書類)、英語外部試験の成績の提出が必要です。1次の書類選考合格者には2次試験として書類内容に即したプレゼンテーションを課し、総合判定します。

海外帰国生特別選抜

外国の高等学校で学んだ邦人を対象に実施します。英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。日本とは異なる教育制度の元で修得した学科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価するため、筆記試験および面接を課し、評価します。

外国人留学生特別選抜

日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験および英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。また日本語能力および思考力や基礎学力について、筆記試験および面接により評価します。

社会人特別選抜

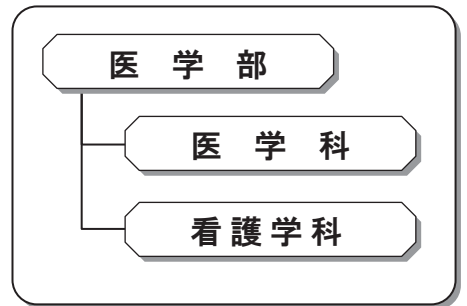
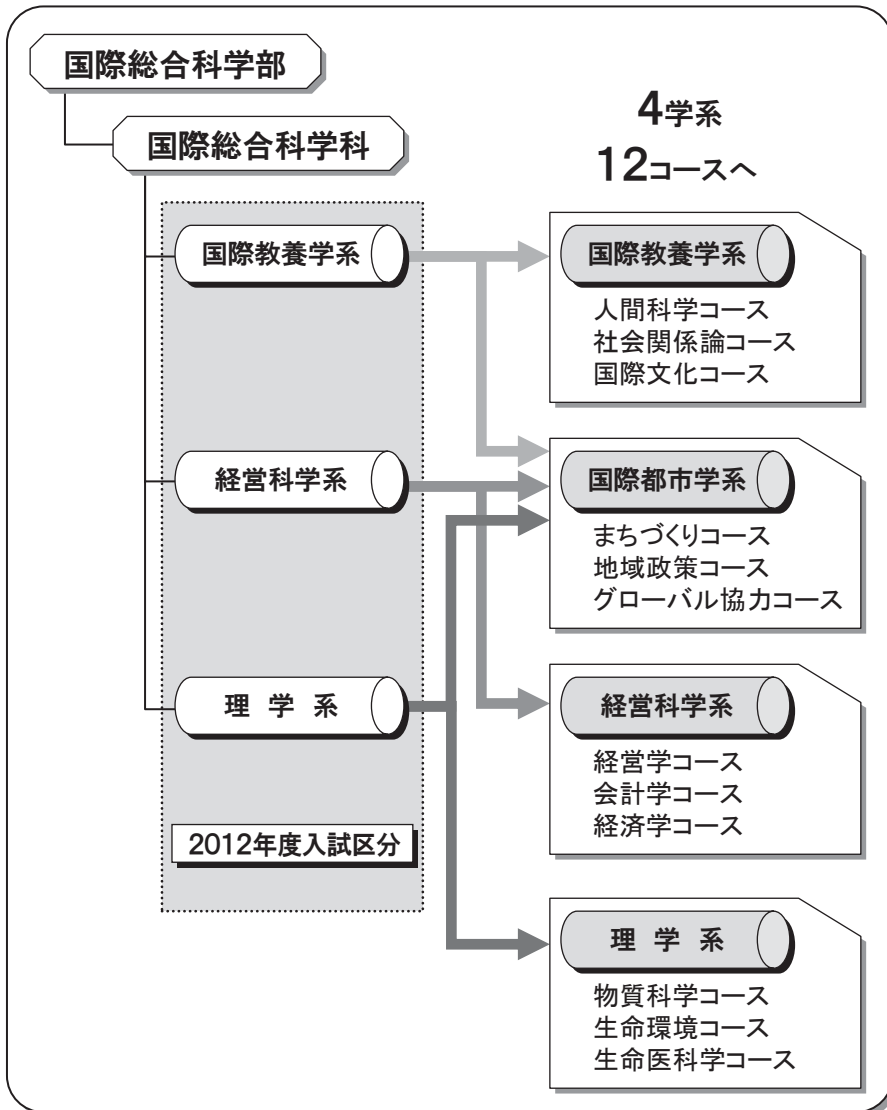
大学入学資格を持ち、満25歳以上の人を対象として実施します。英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。選抜においては、筆記試験および面接を課し、評価します。

医学部 看護学科

推薦入試【指定校制】

本学看護学科が指定する高等学校の在籍者を対象として、在籍中の書類選考と面接により評価します。卒業後は横浜市内を中心とした地域医療へ積極的に貢献できる人の入学を期待する制度です。

◆ 学部構成 ◆



入試制度
学部構成

【国際総合科学部】

▼コース選択は2年次進級時

2012(平成24)年度入試は、国際教養学系、経営科学系、理学系の3区分で行います。国際都市学系のコースへはどの入試枠からも進級可能です。各学系のコースは基本的に2年進級時に選択します。

▼一定の条件で
希望するコースに進級可能

基本的には入試区分に応じた学系のコースへ進級することになりますが、1年次の履修でそれぞれの学系が指定する一定の科目の履修と成績により、入学時の制約を受けずに入試区分以外のコースへ進級することも可能です。

◆2012(平成24)年度入試制度・募集人員◆

学部	学系・学科	一般選抜			特別選抜			計
		一般選抜 【前期日程】	推薦入試 【指定校制】	AO入試	海外帰国生 特別選抜	外国人留学生 特別選抜	社外人 特別選抜	
国際総合科学部	国際教養学系	140	40	30	若干名	若干名	若干名	210
	経営科学系	240	70	10	若干名	若干名	若干名	320
	理学系	75	35	10	若干名	若干名	若干名	120
	計	455	145	50	若干名	若干名	若干名	650
医学部	医学科	90	—	—	—	—	—	90
	看護学科	70	20	—	—	—	—	90
	計	160	20	—	—	—	—	180
合計		615	165	50	若干名	若干名	若干名	830

2012(平成24)年度 入試日程・概要

一般選抜

※一般選抜の詳細につきましては18頁~26頁を確認してください。

区分	学部	学系・学科	募集人員	■入試日程				■選抜方法 【上段:大学入試センター試験配点 / 下段:個別学力検査(第2次試験)配点】										
				出願期間	試験日	合格発表日	入学手続き日	国語	歴公	数学	理科	外国語	論文	小論文	面接	計	総計	備考(教科・科目等)
〔前期日程〕	国際総合科学部	国際教養学系	140	平成24年 1月23日(月) ~2月1日(水) 【郵送必着】	平成24年 2月26日(日)	平成24年 3月7日(水)	平成24年 3月13日(火) 3月14日(水)	(200)	(200)	(200)	—	300	—	—	—	700	1,000	3教科3科目
		経営科学系	240		平成24年 2月25日(土)			—	—	—	—	—	300	—	—	300		1,000
		理学系	75		平成24年 2月25日(土)			—	—	200	200	300	—	—	—	700	1,100	
	医学部	医学科	90		平成24年 2月25日(土) 2月26日(日)			—	—	—	—	400	—	—	—	400		2,200
		看護学科	70		平成24年 2月25日(土)			200	100	200	200	200	—	—	—	900	750	
		—	—		—			—	—	—	—	—	—	—	—	—		—

特別選抜

※特別選抜の詳細につきましては27頁~36頁を確認してください。

区分	学部	学系・学科	募集人員	■入試日程				■選考方法	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
				出願期間	選考日	合格発表日	入学手続き日		科目等	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS
推薦入試 〔指定校制〕	国際総合科学部	国際教養学系	40	平成23年 11月1日(火) ~11月4日(金) 【消印有効】	平成23年 11月19日(土)	平成23年 11月29日(火)	平成23年 12月26日(月)	書類審査／面接	417点(35点)	400点	500点	準2級
		経営科学系	70						要提出(スコア・級 不問)			
		理学系	35						提出不要			
	医学部	看護学科	20						提出不要			
AO入試	国際総合科学部	国際教養学系	30	平成23年 8月29日(月) ~8月31日(水) 【消印有効】	(1次) 書類審査 (2次) 10月15日(土)	(1次) 9月30日(金) (2次) 10月25日(火)	平成23年 12月26日(月)	(1次) 出願書類審査 (2次) 面接審査	460点(48点)	500点	600点	2級
		経営科学系	10						460点(48点)	500点	600点	2級
		理学系	10						417点(35点)	400点	500点	準2級
海外特別選抜 〔帰国生〕	国際総合科学部	国際教養学系	若干名	平成23年 9月12日(月) ~9月14日(水) 【消印有効】	平成23年 10月8日(土)	平成23年 10月25日(火)	平成23年 12月26日(月)	小論文／面接	500点(61点)	600点	700点	準1級
		経営科学系	若干名						500点(61点)	600点	700点	準1級
		理学系	若干名						460点(48点)	500点	600点	2級
外国人留学生特別選抜	国際総合科学部	国際教養学系	若干名	平成23年 9月12日(月) ~9月14日(水) 【消印有効】	平成23年 10月8日(土)	平成23年 10月25日(火)	平成23年 12月26日(月)	小論文／面接	460点(48点)	500点	600点	2級
		経営科学系	若干名						460点(48点)	500点	600点	2級
		理学系	若干名						460点(48点)	500点	600点	2級
社会人特別選抜	国際総合科学部	国際教養学系	若干名	平成23年 9月12日(月) ~9月14日(水) 【消印有効】	平成23年 10月8日(土)	平成23年 10月25日(火)	平成23年 12月26日(月)	小論文／面接	500点(61点)	600点	—	準1級
		経営科学系	若干名						500点(61点)	600点	—	準1級
		理学系	若干名						500点(61点)	600点	—	準1級

2012(平成24)年度入試 入学者選抜における変更点

国際総合科学部

前年度まで

□ 一般選抜における大学入試センター試験の指定教科・科目等

《国際教養学系・経営科学系》

教科	科目
地歴・公民	「世界史 B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目

□ 推薦入試【指定校制】

	■英語資格【出願時に公式な証明書を提出】		
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	英検
国際教養学系	要提出(スコア・級不問)		
経営科学系	提出不要		
理学系	提出不要		

理学系	指定校枠 35名
-----	----------

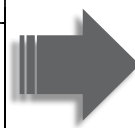
□ AO入試

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	460点(48点)	500点	—	2級
経営科学系	417点(35点)	400点	—	準2級
理学系	417点(35点)	400点	—	準2級

➢ 優遇措置はなし

□ 海外帰国生特別選抜

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	500点(61点)	600点	—	準1級
経営科学系	500点(61点)	600点	—	準1級
理学系	460点(48点)	500点	—	2級



2012(平成24)年度入試

□ 一般選抜における大学入試センター試験の指定教科・科目等

《国際教養学系・経営科学系》

➢ 地歴・公民において『倫理、政治・経済』を選択可とする(選択肢の追加)

教科	科目
地歴・公民	「世界史 B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目

※他の教科・科目については、変更なし

□ 推薦入試【指定校制】

➢ 出願要件の追加

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	417点(35点)	400点	500点	準2級
経営科学系	要提出(スコア・級不問)			
理学系	提出不要 ※変更なし			

➢ 指定校枠の変更

理学系	指定校枠(高大連携枠 10名程度を含む) 35名
-----	--------------------------

□ AO入試

➢ 出願要件の追加・変更

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	460点(48点)	500点	600点	2級
経営科学系	460点(48点)	500点	600点	2級
理学系	417点(35点)	400点	500点	準2級

➢ 優遇措置として、以下の条件を満たす者は、第1次選考(書類審査)の評価にかかわらず、第2次選考に進むことができる。

理学系	「全国物理コンテスト第1チャレンジ」、「全国高校化学グランプリ(一次選考)」、「日本生物学オリンピック予選」の通過者
-----	--

□ 海外帰国生特別選抜

➢ 出願要件の追加・変更

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	500点(61点)	600点	700点	準1級
経営科学系	500点(61点)	600点	700点	準1級
理学系	460点(48点)	500点	600点	2級

変更点

変更点

国際総合科学部

前年度まで

外国人留学生特別選抜

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	443点(43点)	460点	—	—
経営科学系	443点(43点)	460点	—	—
理学系	443点(43点)	460点	—	—

社会人特別選抜

実施なし

2012(平成24)年度入試

外国人留学生特別選抜

出願要件の追加・変更

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】			
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	英検
国際教養学系	460点(48点)	500点	600点	2級
経営科学系	460点(48点)	500点	600点	2級
理学系	460点(48点)	500点	600点	2級

社会人特別選抜

新たに「社会人特別選抜」を導入。

＜募集人員＞ 国際教養学系・経営科学系・理学系ともに各若干名
 ＜選考方法＞ 小論文、面接

出願要件

	■英語資格【出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出】		
	TOEFL-PBT(iBT)	TOEIC	英検
国際教養学系	500点(61点)	600点	準1級
経営科学系	500点(61点)	600点	準1級
理学系	500点(61点)	600点	準1級

医学部 医学科

前年度まで

一般選抜における大学入試センター試験の指定教科・科目等

教科	科目
地歴・公民	「世界史 B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目

2012(平成24)年度入試

一般選抜における大学入試センター試験の指定教科・科目等

地歴・公民において『倫理、政治・経済』を選択可とする(選択肢の追加)

教科	科目
地歴・公民	「世界史 B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目

※他の教科・科目については、変更なし

医学部 看護学科

前年度まで

編入学選抜(3年次)

＜募集人員＞ 20人

2012(平成24)年度入試

編入学選抜(3年次)

募集停止

国際総合科学部

2012(平成24)年度入試

□ センター試験科目・配点

《国際教養学系・経営科学系》

➢ 3教科3科目型

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)																	
3教科3科目(700点)																	
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)						数学								
			①	②													
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎
必要科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	(1)	(1)						(1)								
	2科目受験者は高得点科目を採用												2科目受験者は高得点科目を採用				
	必須		国語・歴公・数学から2教科2科目														
配点	300	(200)	(200)						(200)								



《理学系》

➢ 3教科5科目型

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)						
3教科5科目(700点)						
教科	外国語	数学		理科		
		①	②	物理I	化学I	生物I
科目	英語 (リスニングを含む)	数学I・数学A	数学II・数学B	物理I	化学I	生物I
必要科目	●	●	●	○	○	○
	1	2	2	2		
配点	300	200	200			

2013(平成25)年度入試

□ センター試験科目・配点

《国際教養学系・国際都市学系・経営科学系》

➢ 5教科7科目型【A方式】を新規導入し、3教科3科目型【B方式】との併用とする

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)																								
5(6)教科7科目(1000点)																								
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)						数学			理科												
			①	②																				
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理I	化学I	生物I	地学I	
必要科目	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	1	2						2			1												
	必須	必須										2科目受験者は高得点科目を採用												
配点	300	200	200						200			100												

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)																	
3教科3科目(700点)																	
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)						数学								
			①	②													
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎
必要科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	(1)	(1)						(1)								
	2科目受験者は高得点科目を採用												2科目受験者は高得点科目を採用				
	必須		国語・歴公・数学から2教科2科目														
配点	300	(200)	(200)						(200)								

《理学系》

➢ 3教科5科目型を廃止し、5教科7科目型を新規導入

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)																	
5教科7科目(1000点)																	
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)						数学		理科						
			①	②													
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	物理I	化学I	生物I
必要科目	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	1	1	1						2		2						
	必須	必須	2科目受験者は高得点科目を採用						必須								
配点	300	200	100						200		200						

変更点

変更点

国際総合科学部

2012(平成24)年度入試

□ 2次試験科目・配点

《国際教養学系・経営科学系》

➢ 「論文」

論文	合計
300	300

《理学系》

➢ 「論文」(英語、数学、理科)

※理科:物理・化学・生物→1科目

論文	合計
400	400

□ センター試験/2次試験 配点比率

《国際教養学系・経営科学系》

区分	配点
センター試験	700
2次試験	300

《理学系》

区分	配点
センター試験	700
2次試験	400

2013(平成25)年度入試

□ 2次試験科目・配点

《国際教養学系・国際都市学系・経営科学系》

➢ 「英語」+「小論文」(A方式・B方式 共通)

英語	小論文	合計
300	200	500

《理学系》

➢ 「英語」+「数学」+「理科」

※理科:物理・化学・生物→1科目または2科目

- 理科2科目型【A方式】 「英語」+「数学」+「理科2科目」
- 理科1科目型【B方式】 「英語」+「数学」+「理科1科目」

型	英語	数学	理科	合計
理科2科目型【A方式】	200	200	400	800
理科1科目型【B方式】	200	200	200	600

□ センター試験/2次試験 配点比率

《国際教養学系・国際都市学系・経営科学系》

区分	センター試験5教科7科目型【A方式】	センター試験3教科3科目型【B方式】
センター試験	1000	700
2次試験	500	500

《理学系》

区分	2次試験理科2科目型【A方式】	2次試験理科1科目型【B方式】
センター試験	1000	1000
2次試験	800	600

医学部 医学科

2012(平成24)年度入試

□ センター試験科目・配点

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)															
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)					数学		理科					
			世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	物理I	化学I	生物I	地学I
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	物理I	化学I	生物I	地学I
必要科目	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
	1	1	2科目受験者は高得点科目を採用					2		2					
	必須	必須	2科目受験者は高得点科目を採用					必須		2科目選択					
配点	200	200	100					200		200					

□ 2次試験科目・配点

➢ 小論文100点

英語	数学	理科	小論文	面接	合計
400	400	400	100	*	1300

*「面接」は数段階で評価します。

□ センター試験/2次試験 配点比率

区分	配点
センター試験	900
2次試験	1300

2013(平成25)年度入試

□ センター試験科目・配点

➢ 英語配点を変更(200点→300点)

➢ 理科において地学Iを選択不可とする(選択肢から除外)

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)															
教科	外国語	国語	地理歴史・公民 (同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)					数学		理科					
			世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	物理I	化学I	生物I	地学I
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	物理I <td>化学I</td> <td>生物I</td> <td>地学I</td>	化学I	生物I	地学I
必要科目	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
	1	1	2科目受験者は高得点科目を採用					2		2					
	必須	必須	2科目受験者は高得点科目を採用					必須		2科目選択					
配点	300	200	100					200		200					

□ 2次試験科目・配点

➢ 小論文の得点化を廃止(段階評価)

英語	数学	理科	小論文	面接	合計
400	400	400	*	*	1200

*「小論文」「面接」は数段階で評価します。

□ センター試験/2次試験 配点比率

区分	配点
センター試験	1000
2次試験	1200

医学部 看護学科

2012(平成24)年度入試

□ センター試験科目・配点

> 4教科4科目型

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)

教科	外国語	国語	数学				理科					
			①	②	③	④	理科総合A	理科総合B	物理I	化学I	生物I	
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	数学I・数学A	数学II・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理I	化学I	生物I
必要科目	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	1	1				1					
	必須	必須	2科目受験者は高得点科目を採用				2科目受験者は高得点科目を採用					
配点	200	100	100				100					

□ 2次試験科目・配点

> 「論文」

論文	合計
250	250

□ センター試験/2次試験 配点比率

区分	配点
センター試験	500
2次試験	250



2013(平成25)年度入試

□ センター試験科目・配点

> 4教科4科目型を廃止し、5教科6科目型を新規導入

[英語・国語・歴公1科目・数学1or2科目・理科1or2科目]

- 地歴公民を新規追加(1科目選択)
- 数学の選択肢を限定(工業数理基礎・簿記会計・情報関係基礎を選択不可とする)
- 理科は生物を必須とし、理科総合A・Bを選択不可とする
- 数学I A、数学II B、理科(物理・化学のうち1科目)から2科目選択とする
- 英語の配点を変更(200点⇒300点)
- 国語の配点を変更(100点⇒200点 ※素点のまま採用)

大学入試センター試験で受験が必要な教科・科目(●:必須 ○:選択)

教科	外国語	国語	地理歴史・公民						数学				理科						
			<small>(同一名称を含む科目の組み合わせ受験は不可)</small>						①	②			理科総合A	理科総合B	物理I	化学I	生物I		
科目	英語 (リスニングを含む)	国語	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学I・数学A	数学II・数学B	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理I	化学I	生物I
必要科目	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	1	1						1or2				0or1						
	必須	必須	2科目受験者は高得点科目を採用						最大2科目受験				最大1科目受験						
	※3科目受験者は高得点科目2科目を採用																		
配点	300	200	100						100 or 200				0 or 100			100			

□ 2次試験科目・配点

> 「論文」

論文の配点を変更(250点⇒300点)

論文	合計
300	300

□ センター試験/2次試験 配点比率

区分	配点
センター試験	900
2次試験	300

変更点

変更点

一般選抜

前期日程

募集人員

〔国公立大学前期日程試験のみ実施します。後期日程試験は実施しません。〕 (単位：人)

学 部	学 科・学 系		募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	140
		経営科学系	240
		理 学 系	75
	計		455
医 学 部	医 学 科		90 ※
	看 護 学 科		70
	計		160
合 計			615

※医学部医学科募集人員の内訳

一般枠 60人、地域医療枠 25人、神奈川県指定診療科枠 5人を合わせた人数

(3つの枠の内容については、23頁～25頁参照)

日 程

出願期間【郵送必着】

平成24年

1月23日(月)～2月1日(水)

個別学力検査(第2次試験)実施日

合格発表日

入学手続日

国際総合科学部 国際総合科学科	国際教養学系	平成24年 2月26日(日)	平成24年 3月7日(水)	平成24年 3月13日(火) 3月14日(水)
	経営科学系	平成24年 2月25日(土)		
	理 学 系	平成24年 2月25日(土)		
医 学 部	医 学 科	平成24年 ※ 2月25日(土) 2月26日(日)	平成24年 3月7日(水)	平成24年 3月13日(火) 3月14日(水)
	看 護 学 科	平成24年 2月25日(土)		

※医学部医学科の試験実施教科等

2月25日 外国語／数学／理科

2月26日 小論文／面接

試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

出願資格

平成 24 年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目をすべて受験した者とします。
(20 頁～26 頁の「大学入試センター試験の指定教科・科目等」を参照)

- ◆本学において、個別の入学資格審査(高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定)を希望する者は、平成 23 年 9 月 9 日(金)までに横浜市立大学アドミSSIONズセンターへ申し出てください。

《特別措置》

受験および修学上特別な配慮を必要とする身体に障害を有する入学志願者は、あらかじめ本学と事前相談を行い、その事前相談結果を出願書類に添付する必要があります。該当者は、本学アドミSSIONズセンター(入学試験事務室)より事前相談申請書の交付を受け、この申請書に身体障害の内容・程度等を証明する書類、その他本学が指示する書類等を添えて、平成 24 年 1 月 10 日(火)までに申請してください。

選抜方法

第 1 次選抜〔医学部医学科のみ〕

入学志願者が次に掲げる倍率を超えた場合、平成 24 年度大学入試センター試験の成績および調査書等により、第 1 次選抜を行います。

学 部	学 科	倍率(人数)
医学部	医学科	約 3.3 倍(297 人程度)

最終合格者の決定

大学入試センター試験の成績、個別学力検査(第 2 次試験)の成績、調査書等を総合的に判断し、各学科・学系で定める合否判定基準に従い、最終合格者を決定します。

国際総合科学部

□ 募集人員

(単位：人)

学系	募集人員
国際教養学系	140
経営科学系	240
理学系	75

□ 大学入試センター試験の指定教科・科目等

学系	教科	科目	教科科目数	摘要
国際教養学系 経営科学系	国語	『国語』(古文・漢文含む)	3教科 3科目	1. 外国語に加えて、国語、地歴・公民、数学のうち <u>2教科</u> を受験してください。 2. 国語、地歴・公民、数学の <u>3教科</u> を受験した場合は、高得点の <u>2教科</u> を採用します。 3. 地歴・公民、数学で <u>2科目</u> を受験した場合は、それぞれ高得点の <u>1科目</u> を採用します。
	地歴公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目		
	数学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目		
	外国語	『英語』(リスニングを含む) (必須)		
理学系	数学	『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』の2科目	3教科 5科目	
	理科	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から2科目		
	外国語	『英語』(リスニングを含む)		

(注) 『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

□ 個別学力検査(第2次試験)の出題科目等

学系	科目	時間	備考
国際教養学系	論文	120分	人文科学・社会科学分野に関する課題(英文を含む)を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。
経営科学系	論文	120分	社会科学分野に関する課題(英文を含む)を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。
理学系	論文 (総合問題を含む)	180分	自然科学分野に関する課題(英文を含む)を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。(一部数学および理科の問題を含む(注))

(注) 数学は、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、数学A・B・Cです。数学B・Cの出題範囲は、数列、ベクトル、行列とその応用、式と曲線です。理科は、物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱからいずれかを選択です。物理Ⅱの出題範囲は、力と運動、電気と磁気、原子・分子の運動です。

□ 配点・審査基準および合否判定基準

最終合否判定

○次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点を審査基準とします。
○合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

国際教養学系・経営科学系

試験区分 \ 教科	国語 [200]	地歴・公民 [100]	数学 [100]	外国語 [250]	論文	合計点
大学入試センター試験	(200)	(200)	(200)	300	—	700
個別学力検査(第2次試験)	—	—	—	—	300	300
合計	400 得点の高い2教科または受験した2教科を採用			300	300	1,000

(注1) 教科の[]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 配点換算方法

外国語(英語) : [筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2倍 = 300点

地歴・公民 : 100点満点 × 2倍 = 200点

数学 : 100点満点 × 2倍 = 200点

理学系

試験区分 \ 教科	数学 [100] × 2	理科 [100] × 2	外国語 [250]	論文	合計点
大学入試センター試験	2科目各100 合計200	2科目各100 合計200	300	—	700
個別学力検査(第2次試験)	—	—	—	400	400
合計	200	200	300	400	1,100

(注1) 教科の[]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 配点換算方法

外国語(英語) : [筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2倍 = 300点

医学部 医学科

□ 募集人員

(単位：人)

学 科	募 集 枠	募 集 人 員	
医 学 科	(1) 一般枠	60	90
	(2) 地域医療枠	25	
	(3) 神奈川県指定診療科枠	5	

※ いずれの募集枠についても、出身地および出身高等学校所在地による出願制限はありません。

□ 大学入試センター試験の指定教科・科目等

教 科	科 目	教科科目数	摘 要
国 語	『国語』(古文・漢文含む)	5 教科 7 科目	地歴・公民で2科目を受験した場合は、高得点の1科目を採用します。
地 歴 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理, 政治・経済』から1科目		
数 学	『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』の2科目		
理 科	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」から2科目		
外国語	『英語』(リスニングを含む)		

(注) 『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

□ 個別学力検査(第2次試験)の出題科目等

教科等	科目・内容等	時 間
数 学	『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C』(必須)	120分
理 科	『物理Ⅰ・物理Ⅱ』、『化学Ⅰ・化学Ⅱ』、『生物Ⅰ・生物Ⅱ』から2科目選択	180分
外国語	『英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング』(必須)	90分
小論文	与えられたテーマについて、1,000字程度で論述する。論理的思考力、記述力などを評価します。(必須)	60分
面 接	医学を志す動機、医学・医療に対する適性、意欲、社会的適応力などを総合的に評価します。(必須)	—

(注1) 数学B・Cの出題範囲は、数列、ベクトル、行列とその応用、式と曲線です。

(注2) 物理Ⅱの出題範囲は、力と運動、電気と磁気、原子・分子の運動です。

(注3) 化学Ⅱの出題範囲は全範囲です。

(注4) 生物Ⅱの出題範囲は全範囲です。

(注5) 必須科目および選択科目のすべてを受験していない場合は、審査の対象になりません。

□ 配点・審査基準および合否判定基準

第1次選抜 [入学志願者が本学の定める倍率を超えた場合のみ実施 (19 頁参照)]

- 次表の大学入試センター試験の配点の合計点を審査基準とします。
- 合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

最終合否判定

- 次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点および面接評価を審査基準とします。
- 合否判定は、合計得点の高い者から順に、出願枠の第1志望から優先して合格とします(出願枠については、「出願枠について」をご覧ください)。第2志望または第3志望まで志望した受験生は、第1志望で合格とならなかった場合、第2志望または第3志望での合格の可能性があります。ただし、「地域医療枠」および「神奈川県指定診療科枠」については、応募・選考状況によっては、合格発表数が募集人員に満たない場合があります。どの枠で合格となったかについては、合格発表時に郵送する合格通知書に記載します。なお、面接評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

教科 試験区分	国語 [200]	地歴・公民 [100]	数学 [100]×2	理科 [100]×2	外国語 [250]	小論文	面接	合計点
大学入試 センター試験	200	100	200	200	200	—	—	900
個別学力検査 (第2次試験)	—	—	400	400	400	100	*	1,300
合計	200	100	600	600	600	100	*	2,200

*『面接』は数段階で評価します。

(注1) 教科の[]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 配点換算方法

外国語(英語)：[筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 0.8倍 = 200点

□ 出願枠について(「一般枠」 / 「地域医療枠」 / 「神奈川県指定診療科枠」)

医学部医学科には、3種類の出願枠があります。顕在化している医師不足に対して県内で医学部を有する唯一の公立大学として、地域医療機関における医師確保の安定化に寄与することを目的に、地域医療枠は、神奈川県内の地域医療に従事する医師を養成するため、指定診療科枠は、神奈川県内で特に不足する4つの診療科(産科・小児科・麻酔科・外科)に従事する医師を養成するため、設置されました。いずれの出願枠でも、入学後6年間の医学科教育カリキュラムはほぼ同一です。3枠への併願、3枠のうち2枠への併願、または1枠への専願のいずれかの方法で出願することができます。複数の枠に出願する場合は、志望順位をつけて出願します。

(1) **一般枠** (募集人員 60 人)

従来の前期日程として募集してきた枠で、入学後6年間の医学科教育カリキュラムを履修します。

▼卒業後研修プログラムのモデルケース (一般枠)

6年間	2年間	3年間
医学科教育	初期研修 ※修了半年ほど前に専門医研修の研修先病院を決定	専門医研修

(2) **地域医療枠** (募集人員 25 人)

- ① 神奈川県地域医療枠 (募集人員 20 人)、②市大地域医療枠 (募集人員 5 人)

地域医療枠は①②とも同じ条件で募集を行います。従って出願・合否判定に際しては同じ扱いとなります。また、入学後のカリキュラムについても以下の通り同じとなります。

入学後、6年間の医学科教育カリキュラム(一般枠・神奈川県指定診療科枠と共通)を履修し、卒業後は2年間の初期研修を受けます。その後、3年間の専門医研修を経て、将来、地域医療の指導的・中核的役割を担えるよう4年間の地域医療実践コースによる一貫プログラムの教育を受けます。

この枠の志願者は、出願時に地域医療枠用「誓約書」および出身高等学校からの「推薦書」を提出していただきます。

▼卒業後研修プログラムの流れ (地域医療枠)

6年間	2年間	3年間	4年間
医学科教育	初期研修 ※修了半年ほど前に専門医研修の研修先病院を決定	専門医研修	地域医療実践コース
		※本学附属病院をはじめ、神奈川県内の医療機関(公立病院、準公立病院)より勤務先を決定	

(3) **神奈川県指定診療科枠** (募集人員 5 人)

将来、産科(産科の診療を行う産婦人科を含む)、小児科、麻酔科および外科のうち、神奈川県が学部5年次終了時に指定する診療科の医療に、初期研修修了後従事することを目的とした募集枠です。従事する診療科は、5年次終了時に県内医療の状況、学生本人の特性(希望、能力、適性)、大学の意見を総合的に勘案して、産科、小児科、麻酔科、外科の中から知事が指定します。

なお、この枠では学部1年次～6年次の6年間、神奈川県から本学の学費および生活費相当額の修学資金の貸付を受けることが条件となります。借り受けた修学資金については、本学を卒業し、初期研修修了後に9年間(本学在学期間である6年間の1.5倍の期間)を神奈川県内における医療機関において、知事が指定した診療科の医療に従事することで返還の義務は免除されます。

入学後のカリキュラムについては、6年間の医学科教育カリキュラム（一般枠・地域医療枠と共通）を履修し、6年次においては、診療参加型臨床実習などで、指定する診療科に重点を置いた教育プログラムを受けます。卒業後は2年間の初期研修修了後、3年間の専門医研修を経て、将来、地域における産科等周産期医療を担う指導的・中核的役割を担えるよう6年間の地域医療実践コースによる一貫プログラムの教育を受けます。

なお、初期研修修了時に勤務する病院は、神奈川県医療対策協議会において協議の上、県内医療機関の中から知事が指定します。

この指定する病院は、医師が不足している地域における中核的、かつ、勤務体制の整っている病院を想定しており、指定診療科の指導の下で勤務していただきます（県立病院に限るものではありません）。また、指定後は9年間同一の指定病院に勤務するとは限らず、県内医療の状況を見ながら、いくつかの病院に勤務していただく場合もあります。

この枠の志願者は、出願時に指定診療科枠用「誓約書」および出身高等学校からの「推薦書」を提出していただきます。

▼卒業後研修プログラムの流れ（神奈川県指定診療科枠）

6年間	2年間	3年間	6年間
医学科教育 ※神奈川県より修学資金を貸与 ※5年次終了時に診療科を指定	初期研修 ※修了半年ほど前に専門医研修の研修先病院を決定	専門医研修	地域医療実践コース
		9年間、指定診療科で診療に携わった場合、修学資金の返還義務は免除	
		※産科、小児科、麻酔科、外科より学部5年次終了時に診療科を指定 ※本学附属病院をはじめ、神奈川県内の医療機関（公立病院、準公立病院）より勤務先を決定	

《神奈川県指定診療科枠に関する補足事項》

- 次のような場合には、修学資金の貸付を停止します。
 - 大学を退学、または退学させられたとき。
 - 修学生であることを辞退したとき。
 - 心身の故障のため、大学を卒業する見込みがなくなると認められるとき。
 - 学業成績や品行が著しく不良となったとき。
 - 虚偽その他不正な方法により、修学資金を受けたことが明らかになったとき。
 - その他修学資金の貸付の目的を達成する見込みがなくなると認められるとき。
- 修学資金返還免除のために必要な勤務期間9年間のうち、妊娠・出産・育児、その他、県がやむを得ないと認める事由により医療業務に従事できない期間は、この9年間には含まれません。
- 初期研修修了後、9年間の間に、専門医研修等を行いながら大学院教育を受けることも可能です。

医学部 看護学科

□ 募集人員

(単位：人)

学 科	募集人員
看護学科	70

□ 大学入試センター試験の指定教科・科目等

教 科	科 目	教科科目数	摘 要
国 語	『国語』(古文・漢文含む)	4 教科 4 科目	1. 数学で2科目を受験した場合は、高得点の1科目を採用します。 2. 理科で2科目を受験した場合は、高得点の1科目を採用します。
数 学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目		
理 科	「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1科目		
外国語	『英語』(リスニングを含む)		

(注)『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

□ 個別学力検査(第2次試験)の出題科目等

科 目	時 間	備 考
論 文	120 分	保健・医療・福祉の分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。

□ 配点・審査基準および合否判定基準

最終合否判定

○次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点を審査基準とします。
○合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。ただし、個別学力検査(第2次試験)の評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

試験区分	教 科	国 語 [200]	数 学 [100]	理 科 [100]	外国語 [250]	論 文	合計点
大学入試センター試験		100	100	100	200	—	500
個別学力検査(第2次試験)		—	—	—	—	250	250
合 計		100	100	100	200	250	750

(注1) 教科の[]内は、大学入試センター試験の素点を示します。

(注2) 配点換算方法

国語 : 200点満点×0.5倍=100点

外国語(英語) : [筆記(200点満点)+リスニング(50点満点)]×0.8倍=200点

特別選抜

募集人員

(単位：人)

学部・学科・学系 選抜区分	国際総合科学部 国際総合科学科			医学部
	国際教養学系	経営科学系	理学系	看護学科
推薦入試【指定校制】	40	70	35	20
A O 入 試	30	10	10	—
海外帰国生特別選抜	若干名	若干名	若干名	—
外国人留学生特別選抜	若干名	若干名	若干名	—
社会人特別選抜	若干名	若干名	若干名	—

(注)各特別選抜において志願者数が募集人員に満たない場合および各選抜の可否判定基準において受験者が一定の水準を満たさない場合は、合格者数が募集人員に満たないことがあります。

英語資格

国際総合科学部の各特別選抜における、英語資格にかかわる出願要件は以下のとおりです。
出願時に、下記のスコア・級以上の公式な証明書を提出する必要があります。

※医学部看護学科においては、英語資格は必要ありません。

試験の種類 選抜区分		TOEFL-PBT (TOEFL-iBT)	TOEIC	GTEC for STUDENTS	実用英語技能 検定(英検)
推薦入試 【指定校制】	国際教養学系	417点(35点)	400点	500点	準2級
	経営科学系	要提出(スコア・級不問)			
	理学系	提出不要			
A O 入 試	国際教養学系	460点(48点)	500点	600点	2級
	経営科学系	460点(48点)	500点	600点	2級
	理学系	417点(35点)	400点	500点	準2級
海外帰国生 特別選抜	国際教養学系	500点(61点)	600点	700点	準1級
	経営科学系	500点(61点)	600点	700点	準1級
	理学系	460点(48点)	500点	600点	2級
外国人留学生 特別選抜	国際教養学系	460点(48点)	500点	600点	2級
	経営科学系	460点(48点)	500点	600点	2級
	理学系	460点(48点)	500点	600点	2級
社会人 特別選抜	国際教養学系	500点(61点)	600点	—	準1級
	経営科学系	500点(61点)	600点	—	準1級
	理学系	500点(61点)	600点	—	準1級

推薦入試【指定校制】

□ 募集人員

(単位：人)

学 部	学 科	学 系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	40
		経営科学系	70
		理 学 系	35
医 学 部	看護学科		20

□ 日 程

出願期間【消印有効】	選考日	合格発表日	入学手続日
平成 23 年 11 月 1 日(火) ~ 11 月 4 日(金)	平成 23 年 11 月 19 日(土)	平成 23 年 11 月 29 日(火)	平成 23 年 12 月 26 日(月)

□ 試 験 場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

次に掲げる基準をいずれも満たす者で、本学が指定する高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）の学校長が推薦する者

- ① 本学が指定する高等学校を平成 24 年 3 月に卒業見込みの者
- ② 高等学校在学中の学業成績が一定基準以上の者（詳細は指定校宛に通知します）
- ③ 国際総合科学部においては、下記に定める資格のスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者

国際教養学系：TOEFL-PBT 417 点（iBT 35 点）以上、TOEIC 400 点以上、
GTEC for STUDENTS 500 点以上、または実用英語技能検定（英検）準 2 級以上

経営科学系：TOEFL-PBT（iBT）、TOEIC、GTEC for STUDENTS

または実用英語技能検定（英検）のいずれかのスコア・級（スコア・級不問）

理 学 系：提出不要

〔TOEFL-ITP、TOEIC-IP の取り扱いについて〕

志願者の在籍する高等学校が実施団体の場合のみ認められます。

□ 評価方法

書類審査および面接

□ そ の 他

指定校宛に、個別に推薦依頼を行います。

特別選抜

AO入試

□ 募集人員

(単位：人)

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	30
		経営科学系	10
		理学系	10

□ 日程

出願期間【消印有効】

平成 23 年

8 月 29 日(月) ~ 8 月 31 日(水)

第 1 次選考合格発表日

第 2 次選考日

合格発表日

入学手続き日

平成 23 年

9 月 30 日(金)

平成 23 年

10 月 15 日(土)

平成 23 年

10 月 25 日(火)

平成 23 年

12 月 26 日(月)

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者および平成 24 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および平成 24 年 3 月までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成 24 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

□ 出願要件

次のいずれにも該当する者

- ① 横浜市立大学と国際総合科学部の理念や教育内容をよく理解し、国際総合科学部への志望理由や入学後の構想が明確で、それを実現するに十分な意欲と能力を有する者
- ② 学業、社会人経験などを通じて、さまざまな活動に積極的に取り組み、成果をあげていると自己評価できる者
- ③ 本学への入学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者
- ④ 下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者
<但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

国際教養学系 } : TOEFL-PBT 460 点 (iBT 48 点) 以上、TOEIC 500 点以上、

経営科学系 } GTEC for STUDENTS 600 点以上、または実用英語技能検定 (英検) 2 級以上

理学系 : TOEFL-PBT 417 点 (iBT 35 点) 以上、TOEIC 400 点以上、

GTEC for STUDENTS 500 点以上、または実用英語技能検定 (英検) 準 2 級以上

【AO入試】次頁へ

□ 選考方法

	備 考
第 1 次 選 考	出願書類審査 ●プレゼンテーション(発表)概要1 「これまでの活動や取り組みで自己評価できるもの」 ●プレゼンテーション(発表)概要2 「志望理由・入学後の目標」 ●TOEFL・TOEIC・GTEC for STUDENTS・英検の成績証明書 ●調査書 等
第 2 次 選 考	面接審査 プレゼンテーション (発表) 質疑 等
合格者の決定	出願書類により第1次選考を行い、第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。 第2次選考は、書類審査の評価と面接の評価を総合評価して合格者を決定します。

※ 優遇措置 (理学系のみ)

「全国物理コンテスト第1チャレンジ」、「全国高校化学グランプリ (一次選考)」,または「日本生物学オリンピック予選」の通過者は、第1次選考 (書類審査) の評価にかかわらず、第2次選考 (面接審査) に進むことができます。

配 点

区 分	配 点		
第 1 次 選 考	出願書類審査 <100点>	70点	●プレゼンテーション(発表)概要1 ●プレゼンテーション(発表)概要2
		30点	●英語資格の級・スコア ●高等学校の調査書等
第 2 次 選 考	面接審査 <100点>		

特別選抜

海外帰国生特別選抜

□ 募集人員

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	若干名
		経営科学系	若干名
		理学系	若干名

□ 日程

出願期間【消印有効】	選考日	合格発表日	入学手続き日
平成 23 年 9 月 12 日(月) ~ 9 月 14 日(水)	平成 23 年 10 月 8 日(土)	平成 23 年 10 月 25 日(火)	平成 23 年 12 月 26 日(月)

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

次の①および②のいずれにも該当する者

- ① 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、外国で学校教育を受けたことがある者のうち、次のア～ウのいずれかに該当する者

※外国に設置されている教育機関であっても日本の教育制度に基づく在外教育施設を除く

ア 外国において、学校教育における 12 年の課程のうち、最終学年を含む課程に 2 年以上継続して在学し、2010 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日までに卒業(修了)した者、もしくは卒業(修了)見込みの者

イ 2010 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日までに、日本国内の高等学校等を卒業した者または卒業見込みの者のうち、中・高等学校を通じて 3 年以上外国の学校で教育を受け、かつ、日本国内の高等学校等の在籍期間が 2 年未満の者

ウ 外国において、国際バカロレア事務局から、2010 年または 2011 年に国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma) を授与された者で、2012 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者 (1994 年 4 月 1 日以前に生まれた者)

- ② 下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者

<但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

国際教養学系]: TOEFL-PBT 500 点 (iBT 61 点) 以上、TOEIC 600 点以上、

経営科学系] GTEC for STUDENTS 700 点以上、または実用英語技能検定(英検)準 1 級以上

理学系 : TOEFL-PBT 460 点 (iBT 48 点) 以上、TOEIC 500 点以上、

GTEC for STUDENTS 600 点以上、または実用英語技能検定(英検) 2 級以上

□ 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
経営科学系	小論文	社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理 学 系	小論文	自然科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

□ 合否判定基準

小論文（配点 100 点）、面接（配点 100 点）の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

外国人留学生特別選抜

□ 募集人員

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	若干名
		経営科学系	若干名
		理学系	若干名

□ 日程

出願期間【消印有効】	選考日	合格発表日	入学手続き日
平成 23 年 9 月 12 日(月) ~ 9 月 14 日(水)	平成 23 年 10 月 8 日(土)	平成 23 年 10 月 25 日(火)	平成 23 年 12 月 26 日(月)

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

外国人（在留資格が永住の者を除く。また、日本国籍との二重国籍者は含まない）で、次の①、②、③のいずれにも該当する者

- ① 外国において日本国以外の学校教育制度による 12 年の課程を修了し（2012 年 3 月までに修了見込みの場合を含む）その国において大学入学資格を有する者およびこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- * 「12 年の課程」に日本の学校での在学期間（外国にある日本の教育制度に準拠した学校に在籍した場合も含む）が含まれる場合は、中学・高校を通算して在学期間が 2 年以内であり、かつ卒業した高校が外国の学校（日本にある外国人学校を含む）であれば出願資格を認める。
- * 準ずる者とは、外国の検定試験合格者、外国人を対象とする準備教育課程の修了者、日本国内に設置された外国の教育施設の修了者
- 文部科学大臣が指定した者（国際バカロレア取得者、独アビトゥア取得者、仏バカロレア取得者）および国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程の修了者で、2012 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者
- その他、本学において上記と同等の学力を有すると認められた者
- ② 2010 年 11 月または 2011 年 6 月に実施された日本留学試験（独立行政法人日本学生支援機構）を受験し、次の成績以上の者（1 回の試験において、下表の要件を満たしていること）

学系	受験科目	試験成績
国際教養学系 経営科学系	日本語、数学(コース 1)、総合科目	日本語は 55%以上 数学(コース 1)と総合科目は 50%以上
理学系	日本語、数学(コース 2)および理科 （「物理・化学・生物」から 2 科目） （合計 4 科目）	日本語は 55%以上 数学(コース 2)は 50%以上 理科は 2 科目の合計が 50%以上

- ③ 下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者
 <但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

TOEFL-PBT 460 点 (iBT 48 点) 以上、TOEIC 500 点以上、GTEC for STUDENTS 600 点以上、
 または実用英語技能検定 (英検) 2 級以上
ただし、英語を教授言語とする学校の出身者は不要。

□ 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題 (英文を含む) を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
経営科学系	小論文	社会科学分野に関する課題 (英文を含む) を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理 学 系	小論文	自然科学分野に関する課題 (英文を含む) を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

□ 合否判定基準

小論文 (配点 100 点)、面接 (配点 100 点) の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

社会人特別選抜

□ 募集人員

学部	学科	学系	募集人員
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	若干名
		経営科学系	若干名
		理学系	若干名

□ 日程

出願期間【消印有効】	選考日	合格発表日	入学手続き日
平成 23 年 9 月 12 日(月) ~ 9 月 14 日(水)	平成 23 年 10 月 8 日(土)	平成 23 年 10 月 25 日(火)	平成 23 年 12 月 26 日(月)

□ 試験場

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

□ 出願資格・要件

次の①および②のいずれにも該当する者（ただし、外国籍の者については、在留資格が永住の者に限る）

- ① 平成 24（2012）年 4 月 1 日までに満 25 歳に達する者（1987 年 4 月 1 日以前に生まれた者）のうち、次のア～ウのいずれかに該当する者
 - ア 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者
 - イ 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
 - ウ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

- ② 下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書を提出できる者
<但し、TOEFL-ITP、TOEIC-IP は認められません>

TOEFL-PBT 500 点（iBT61 点）以上、TOEIC 600 点以上、
または実用英語技能検定（英検）準 1 級以上

特別選抜

□ 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
経営科学系	小論文	社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理 学 系	小論文	自然科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

□ 合否判定基準

小論文（配点 100 点）、面接（配点 100 点）の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

2011(平成23)年度 横浜市立大学 入試結果

学部等 区分	国際総合科学部(国際総合科学科)				医学部			全学計	
	国際教養学系	経営科学系	理学系	学部計	医学科	看護学科	学部計		
推薦入試	募集人員	40	70	35	145	—	10	10	155
	志願者数	40	65	35	140	—	8	8	148
	受験者数	40	65	35	140	—	8	8	148
	合格者数	40	65	35	140	—	8	8	148
	入学者数	40	65	35	140	—	8	8	148
AO入試	募集人員	30	10	10	50	—	—	—	50
	志願者数	103	57	23	183	—	—	—	183
	1次合格者数	66	22	21	109	—	—	—	109
	2次受験者数	63	22	21	106	—	—	—	106
	2次合格者数	30	10	10	50	—	—	—	50
	入学者数	29	10	10	49	—	—	—	49
海外帰国生	募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	—	—	—	若干名
	志願者数	28	15	4	47	—	—	—	47
	受験者数	24	10	4	38	—	—	—	38
	合格者数	12	7	1	20	—	—	—	20
	入学者数	8	4	1	13	—	—	—	13
外国人留学生	募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	—	—	—	若干名
	志願者数	6	24	6	36	—	—	—	36
	受験者数	6	22	5	33	—	—	—	33
	合格者数	4	12	4	20	—	—	—	20
一般選抜	募集人員	140	240	75	455	90	80	170	625
	志願者数	722	1,177	314	2,213	469	336	805	3,018
	受験者数	592	981	287	1,860	※ 291	316	607	2,467
	合格者数	260	393	116	769	97	106	203	972
	入学者数	142	248	90	480	90	85	175	655
合計	募集人員	210	320	120	650	90	90	180	830
	志願者数	899	1,338	382	2,619	469	344	813	3,432
	受験者数	725	1,100	352	2,177	291	324	615	2,792
	合格者数	346	487	166	999	97	114	211	1,210
	入学者数	221	339	140	700	90	93	183	883

※ 医学部医学科の一般選抜受験者数は、第1次選抜実施後の人数(第1次選抜合格者数 298人)。

一般選抜 合格者平均点・最低点

学部	学科・学系	募集人員	合格者数	配点			合格者		
				センター	2次	合計	平均点	最低点	合計
国際総合科学部	国際教養学系	140	250	700	300	1,000	581.9	137.2	686.0
	経営科学系	240	393	700	300	1,000	567.5	175.9	703.2
	理学系	75	116	700	400	1,100	526.2	272.3	745.4
医学部	医学科	90	90	900	1,300	2,200	787.0	842.9	1,536.2
	看護学科	80	106	500	250	750	376.3	137.5	482.1

*この表には、追加合格者の人数・点数は含まれていません。

*医学部では、以下の場合には合計点にかかわらず不合格となる事があります。

【医学科】面接の評価(段階評価で合計点に含まない)が一定の水準以下の場合。【看護学科】2次試験の評価が一定の水準以下の場合。

一般選抜 第1次選抜合格者平均点・最低点


学部	学科	募集人員	合格者数	センター配点	第1次選抜合格者	
					平均点	最低点
医学部	医学科	90	298	900	771.6	729.4

大学案内・募集要項（願書）の入手方法

平成 24 年度の「大学案内」および「一般選抜」・「A〇入試」・「海外帰国生特別選抜」・「外国人留学生特別選抜」・「社会人特選抜」の募集要項（願書）は、以下の方法で請求してください。なお送付先は、日本国内のみとなります。

1 インターネットの専用資料請求画面から請求する方法



大学のホームページから  テレメールの本学専用資料請求画面にアクセスできます。

詳しくは、横浜市立大学ホームページ <http://www.yokohama-cu.ac.jp>、

携帯サイト <http://ycu.jp> をご覧ください。

また、この携帯用バーコードを読み取ることにより携帯用の資料請求画面に直接アクセス出来ます。

2 自動音声応答電話またはインターネットにて、資料請求番号により請求する方法

(1) テレメールの自動音声応答電話、またはインターネットにアクセスしてください。



自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101
一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約11円です。	
インターネット	http://telemail.jp (パソコン・携帯端末とも共通)

(2) 資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	送料（予定）	発送開始予定
大学案内	562622	390円	6月中旬
一般選抜第2次試験問題・解説集	562582	140円	
A〇入試募集要項	582612	200円	
A〇入試募集要項+大学案内	542612	390円	7月上旬
海外帰国生特別選抜募集要項	542632	140円	
海外帰国生特別選抜募集要項+大学案内	542642	390円	
外国人留学生特別選抜募集要項	582592	140円	
外国人留学生特別選抜募集要項+大学案内	542592	390円	
社会人特別選抜募集要項	586272	140円	
社会人特別選抜募集要項+大学案内	586282	390円	10月下旬
一般選抜募集要項（国際総合科学部）	562282	200円	
一般選抜募集要項（〃）+大学案内	562292	390円	
一般選抜募集要項（医学部医学科）	582282	200円	
一般選抜募集要項（〃）+大学案内	582292	390円	
一般選抜募集要項（医学部看護学科）	582482	200円	
一般選抜募集要項（〃）+大学案内	542482	390円	

(3) あとはガイダンスに従って登録してください。

※ 自動音声応答電話を使ってテレメールを初めて利用される場合、ご住所・お名前等の登録は音声録音となります。ガイダンスの後の「ピッ」という発信音の後に一呼吸おいてハッキリとお話してください。

※ 自動音声応答電話でもインターネットでも、テレメールの暗証番号（数字4桁）は共通です。自動音声応答電話は初回利用から48時間経過後、登録した暗証番号を利用することができます。インターネットの場合はすぐに利用できます。

※ 受付から2～3日程で送付されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。なお5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。

※ 送料は、お届けする資料に同封されている用紙を用い、コンビニエンスストア、ゆうちょ銀行または郵便局でお支払いください。

請求方法についてのお問合せ先

テレメールカスタマーセンターTEL：050-8601-0102（月～金 9:30～18:00）

横浜市立大学 アドミッションズセンター

住 所：〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22 番 2 号

TEL：045-787-2054・2055（直通）

※事務取扱時間 8:30～17:15（土日祝を除く）

金沢八景キャンパス

〒236-0027

横浜市金沢区瀬戸 22-2

《アクセス》

京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩 5 分

シーサイドライン「金沢八景駅」より徒歩 7 分